

3. 群発頭痛

① 症状・原因

年に一度ほど1ヶ月くらいの間、一定の時刻になると1~2時間毎日のように片目がえぐられるような激しい痛みが起こります。20~30代の男性に多く見られ、お酒を飲むことによって起こりやすくなります。また、ニトログロセリン(狭心症の治療薬)などの血管を拡張する薬も群発頭痛を起こすことがありますので、医師に相談されることをお勧めします。

特に睡眠中に起こりやすく、痛みのある側の目が充血したり、涙が出たり、鼻水が出たり、鼻づまりが起こることがあります。

② 治療

■ スマトリプタン (皮下注射薬・点鼻薬)

血管収縮作用をもつスマトリプタンは、優れた頭痛鎮静効果があります。
この薬は群発頭痛の発作時の第一選択の薬として使われています。

※ただし虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)や末梢血管障害(手先・足先など、からだの末梢への血液の流れが悪くなる疾患)のある人には使えません。

■ 酸素吸入

発作時の痛みには酸素の吸入も有効です。酸素吸入(毎分7リットル以上)が有効とされています。頭痛が起こりそうになったら深呼吸をすると効果的です。

③ 予防

■ エルゴタミン製剤

頭痛が起こる前(就寝前など)にタイミングよく服用することで予防効果があります。ただし痛みが本格化してからの服用は効果がないので注意が必要です。

■ カルシウム拮抗薬 … 塩酸ロメリジン製剤・塩酸ベラパミル製剤

■ 副腎皮質ステロイドホルモン … プレドニゾロン製剤

■ 抗てんかん薬 … バルプロ酸ナトリウム製剤

■ 抗うつ薬 … 炭酸リチウム製剤 など

- アルコールは頭痛が起こる原因となりますので、頭痛が起こっている時期は禁酒することが肝心です。

④ 薬物療法以外の治療

薬物療法の無効例では、痛みの伝達を遮断する神経ブロック療法(三叉神経ブロック、星状神経節ブロック、翼口蓋神経節ブロック、大後頭神経ブロック)、三叉神経根切除、翼口蓋神経節切除が行われることがあります。ガンマナイフ治療(放射線ビームを神経に照射する)、脳深部刺激療法(磁氣的刺激を与える)も行われていますが、効果は確立されていません。